

# 霧ヶ峰基金会報

2010年8・9月号（通算37号）

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactory2 階

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



## 光の朝

夏の早朝、八島ヶ原湿原の八島池には太陽が映り込みます。

朝4：00。その一瞬を狙って、たくさんの人が木道でカメラを構え、その時を待っていました。

この日はあいにくの雲がたなびくお天気でしたが、金色に輝く太陽が東の空からスローモーションのようにあがり、藍色の空がまばゆいオレンジ色に、そして徐々に青い空に変わるという一大スペクタクル。

一瞬を逃すまいとみつめるそれぞれの人の眼にも、この光の物語は焼きついたことでしょう。

# 2010年度通常総会 開催しました。

2010年6月23日、下諏訪町御田町の事務所において通常総会を開催し、2009年度事業報告及び会計報告・事業監査報告、2010年度事業計画及び事業予算案が承認されました。  
※本年度の事業計画につきましては、会報2010年6・7月号をご覧ください

本年度も皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2009年度会計貸借対照表

2010年3月31日現在 単位：円

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金	7,226	未払費用他	0
普通預金	1,657,805	流動負債合計	0
釣銭	31,500	2 固定負債	
棚卸資産	208,092		0
流動資産合計	1,904,623	固定負債合計	0
2 固定資産		負債合計	0
什器備品	132,996	III 正味財産の部	
保証金	20,000	前期繰越正味財産	2,038,022
固定資産合計	152,996	当期正味財産増加額	19,597
資産合計	2,057,619	正味財産合計	2,057,619
		負債及び正味財産合計	2,057,619

なお、総会中、理事の追加がなされ、中村昇氏（長野県下諏訪町）が理事として就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2010年度の会費納入のお願い

活動は会員の皆さまの会費により支えられています。どうかお早目のご納入をお願いいたします。  
このたび、事務局で会費納入のご確認ができなかったかたに払込票を同封いたしております。  
なお、払込票のお届けとご納入が行き違いでございましたら、ご容赦くださいませ。

## 2010年のモニタリング調査 短信



「今年は寒いね」「花が遅いね」と、あいさつ代わりに交わされる今年の霧ヶ峰。  
調査をしても、昨年の同時期に咲いていたものが今年はずぼみの姿であったり、姿が見当たらなかったり。  
そうはいても、開花の遅れは真夏のうちまでには追いつくことが多い様子ですので、調査を通じてそんな様子も追っていければと思います。

### ★調査のお手伝いをお願いします！★

モニタリング調査のお手伝いをしてくださる方、ご連絡をお待ちしています。  
8月は21日（土）早朝から予定しています。

上の写真はキンバイソウの一群。  
御射山で観察できます。ここ数年で株数もだいぶ増えてきているようです。  
昨年の同時期も観察できました。

（担当：降旗香代子）

# エコツアー開催報告

6月、梅雨の晴れ間に「レンゲツツジ観賞ハイク」を行いました。

今年は踊場湿原一周と車山湿原の途中までを散策。レンゲツツジの開花はやや遅め。

しかし、今年も鮮やか赤色で我々を迎えてくれました。

踊場湿原では、火入れ・雑木処理等のお話をしながら、久々の晴れ間の中を楽しむような散策を行うことができました。

車山湿原は前日までの降雨で、登山道が途中から水没しており途中で引き返しましたが、レンゲツツジ、コバイケイソウ等初夏の湿原の花と名残りのズミ、だいぶ成長したザゼンソウを楽しむことができました。

散策中、お客様からの話題として「シカ」がありました。シカの食害は全国的な問題であり、今回のお客様には身近な問題のようでした。レンゲツツジを眺めながら、霧ヶ峰でのシカ問題、対策などを話した一日でした。



今回のレンゲツツジ観賞ハイクは、レンゲツツジを観賞すると同時に、シカの食害のついでにミニ情報交換会でもあり、また、シカ問題を通して参加者の共感を得たツアーでもありました。

(小原宏文)

## 車山の三角点

車山の三角点が長い間行方不明になっていました。

ある、インターネットサイトに「日本百名山」登頂を目指してしているグループの記事がありました。

蓼科山に登り当日、車山に来た、広々とした山頂で三角点の所在が判らない、散々探したが無かった、処がその時、まわり一面の『ニッコウキスゲ』(2005年)でびっくり、花を見に来た訳でもなかったが大満足し、三角点は諦めて帰った、と言う内容でした。

「百名山」登頂の証は三角点の横に立ち写真に残すことですから当然です。

当基金でもこの「二等三角点車沢」についても興味をもっておりました。

少し古い話になりますが、2008年12月13日、登山道調査で登ったところ、雪の中に三角点の復元を確認しました。

早速「国土地理院」のウェブサイトを開くと「二等三角点『車沢』再設作業」がありました。

URL

<http://www.gsi.go.jp/kanto/kanto40003.html>

追記

深田久弥の「日本百名山」には『霧ヶ峰』で山・岳は使っておらず、変わった表現になっています。こんな表現は「八幡平」「美ヶ原」「霧ヶ峰」「早池峰」だけで、いずれも「山」ではなく広範囲を示す高原を指しています。

霧ヶ峰高原は広さ約3,000haと云われており、全域を指しているものと思われます。

『霧ヶ峰』の最高点は『車山』、三角点の名称も『車山』では無く『車沢』です、命名の云われは判りませんが、車山の噴火口と言われる沢は、下流に「脱ダム宣言」で知られる砥川(下諏訪町)の流域で、最長距離を有する点にあります。

また、この三角点は約100年前(1902)に設置されており、明治の終わりに「5万分の1」の地図が出来、供用開始されたわけですが、緯度・高度は今も変わらないとのことである。

但し、ここに気象台の「気象レーダー観測所」が建設された為、旧位置から約10m移動して作られたとのこと。

ちなみに、三角点の旧位置は次の通りです。

東経 138 度 11 分 47,8068”

北緯 36 度 06 分 10,6862”

海拔 1924, 95m

(西村増夫)



## いつもご支援ありがとうございます。

寄付金（2010年5月1日～6月30日） 14,100円いただきました。  
これらのご寄付は活動を通じて霧ヶ峰の環境保全とエコツーリズムの推進に活用されます。  
ご支援に心より感謝申し上げます。

霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同してくださる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。  
全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。（手数料はご負担ねがいます。）

- ・口座番号 00520-7-44684
- ・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

### ※ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

寄付金をいただいたかたにつきまして、金額等に関わらずご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。（お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください）

## 活動記録（2010年5月1日～6月30日）

5月	22日	・モニタリング調査（植物相・水環境）
	29日	・打ち合わせ会
	30日	・会報2010年6・7月号発行
6月	12日	・情報収集（霧ヶ峰高原）
	19日	・小和田牧野農業協同組合在来植生復元事業 参加
	23日	・受託ツアー開催
	12日	・理事会、定期総会 開催
	27日	・モニタリング調査（水環境）

## オリジナルポストカード、リニューアルしました。

好評のオリジナルポストカードがリニューアル。  
11枚セット（専用ケース入り）700円で販売中です。  
諏訪地域の下記のお店でお取り扱いをしております。

一部店舗さまではオリジナル日本手ぬぐいも扱っております。

- ・車山肩 ころぼっくる・ひゅってさま
- ・霧ヶ峰強清水 高原の店さま 霧ヶ峰ホテルさま
- ・八島湿原 八島山荘さま

下諏訪町御田町 Taka Factory さま  
諏訪市元町 真澄蔵元 セウ真澄さま  
諏訪市高島 丸高蔵さま

### <通信販売 ご注文方法>

郵便局に備え付けの払込伝票でお申し込みください。

- 1 通信欄にご希望の商品名と個数、お届け先の住所・氏名・電話番号をご記入してください。

※配達日時指定およびギフト包装は致しかねます。  
ご了承ください。

※日本国内の配達に限定いたします。

- 2 商品代金+発送手数料300円をお払ください。

加入者名	NPO 法人霧ヶ峰基金
口座番号	00520-7-44684

振替手数料はお客様のご負担になります。

- 3 入金完了後1～2週間以内に商品を発送いたします。  
普通郵便またはクロネコヤマトメール便でお届けします。



**編集後記** 涼しい、さわやかといわれる諏訪地方も梅雨明けからは鉄板の上で焼かれるように暑く感じます。湿気がない分、風が吹けば気持ちいいのですが、それでも日中はツライ…。そんな酷暑の日は霧ヶ峰へGO! 涼感あふれる空気とそよぐ草原。ここはまるで別天地です。「うひょー、しあわせーっ!」って叫んだりして。(か)

次号会報2010年10・11月号は2010年9月下旬ころ発行予定です。